

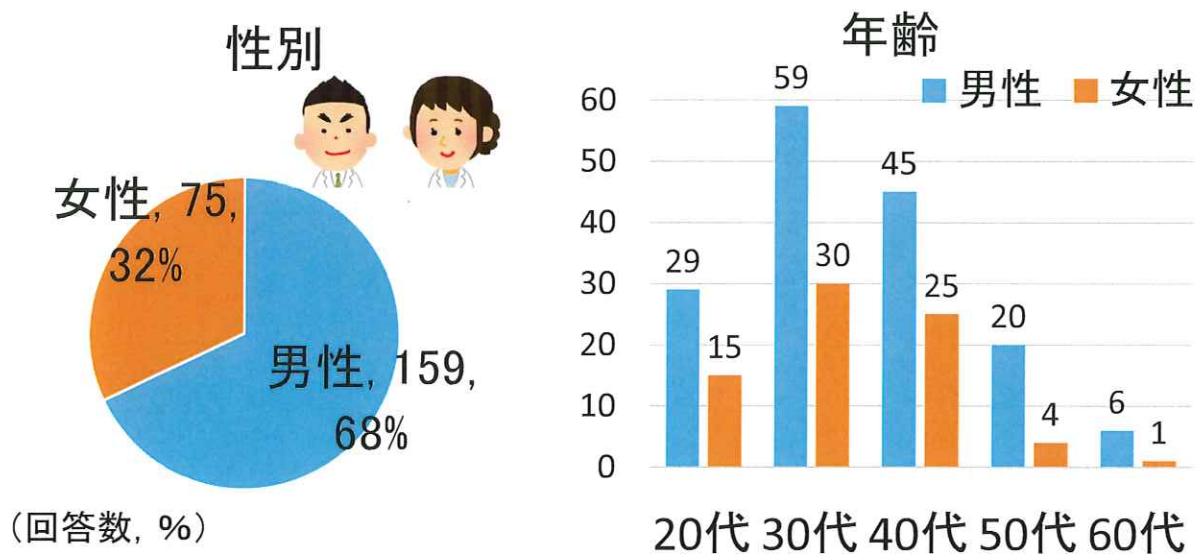
仕事と育児の両立支援に関するアンケート

- 2020年(令和2年)9月に実施
- 対象 岐阜大学附属病院勤務の
医師・歯科医師456名
- 回答数 234名(51%)

➤ 前回(2015年)から5年ぶりの調査



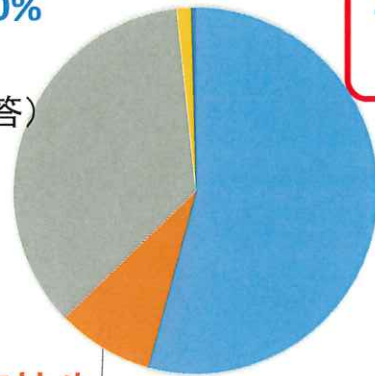
回答者の性別・年齢



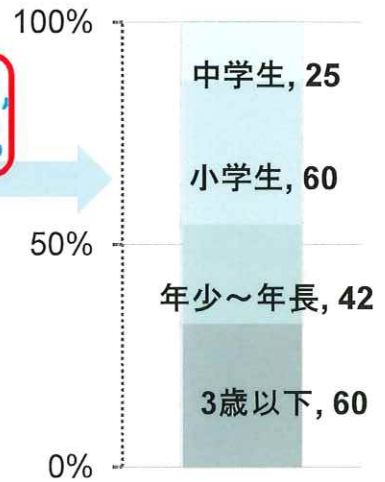
- 男性が7割、女性が3割
- 男性・女性とも30代が最多、次いで40代

現在、子育て中ですか？

無回答, 1, 0%
 その他, 3, 1%
 (出産予定あり 2回答)
 子育て中ではない,
 83, 36%



子育て中,
 127, 54%



子供はいるが、高校生
 以上, 20, 9%

(回答数, %)

子供の年代

(回答数)

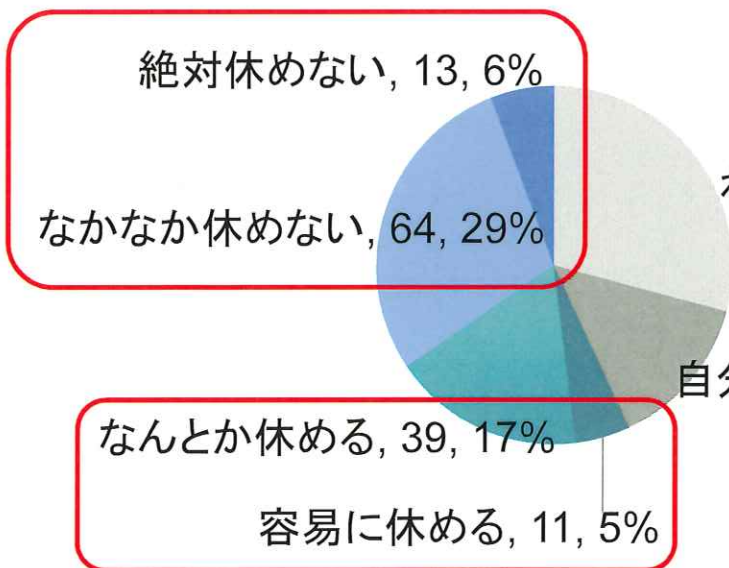
- 回答者のうち半数以上が子育て中
- 子供の年代は、小学生未満が約半数



岐阜大学
 GIFU UNIVERSITY

子供が体調不良の時 仕事を休むことができる？

(回答数, %)



子供はいないので、
 わからない, 65, 29%

子供がいるが、
 自分が仕事を休まなくてもよい,
 31, 14%

約2割が“休むことができる”

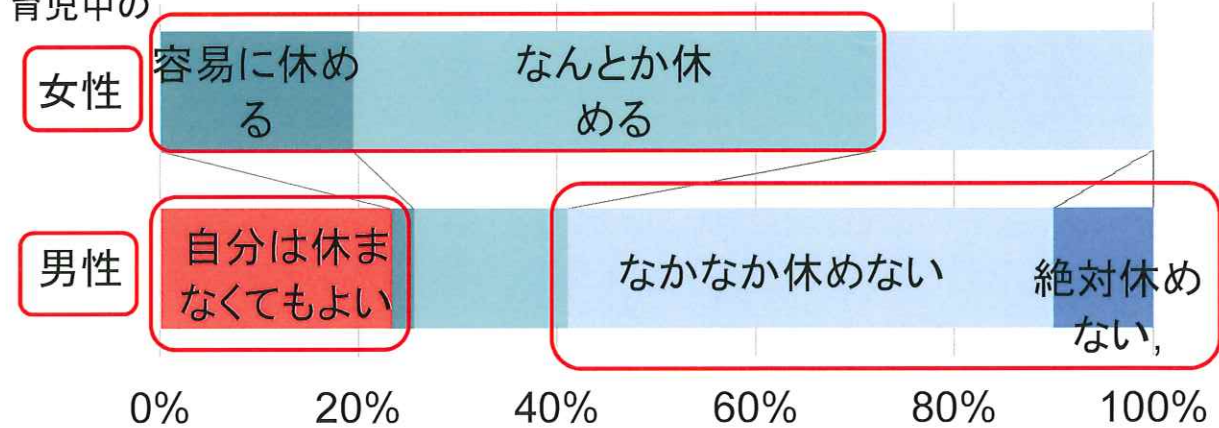


岐阜大学
 GIFU UNIVERSITY

子供の体調不良で、休むことが出来る？

回答者の男女別で見ると

育児中の



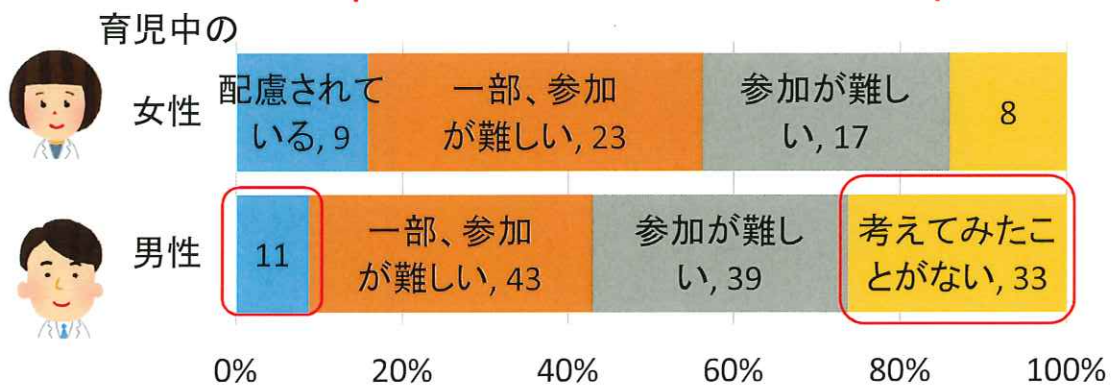
休暇取得のしやすさが男女で違う？



学習会・カンファレンス・委員会等は
育児中でも参加しやすいよう
時間帯に配慮されている？



回答者の男女別で見ると

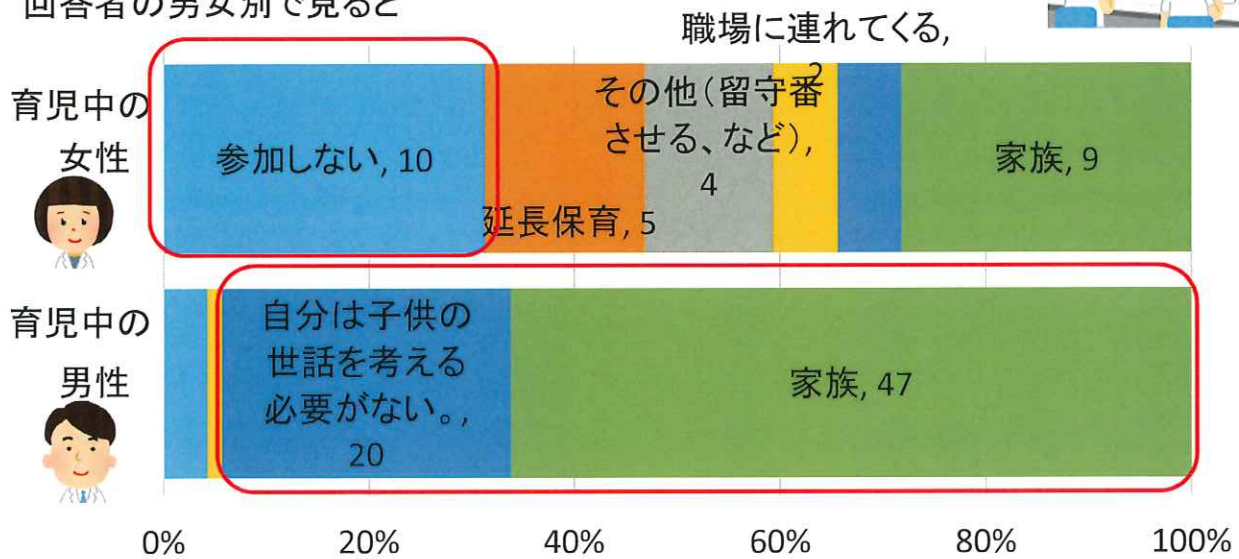


・参加が難しい、と感じている

時間外の学習会等に参加する場合、 育児は誰が？

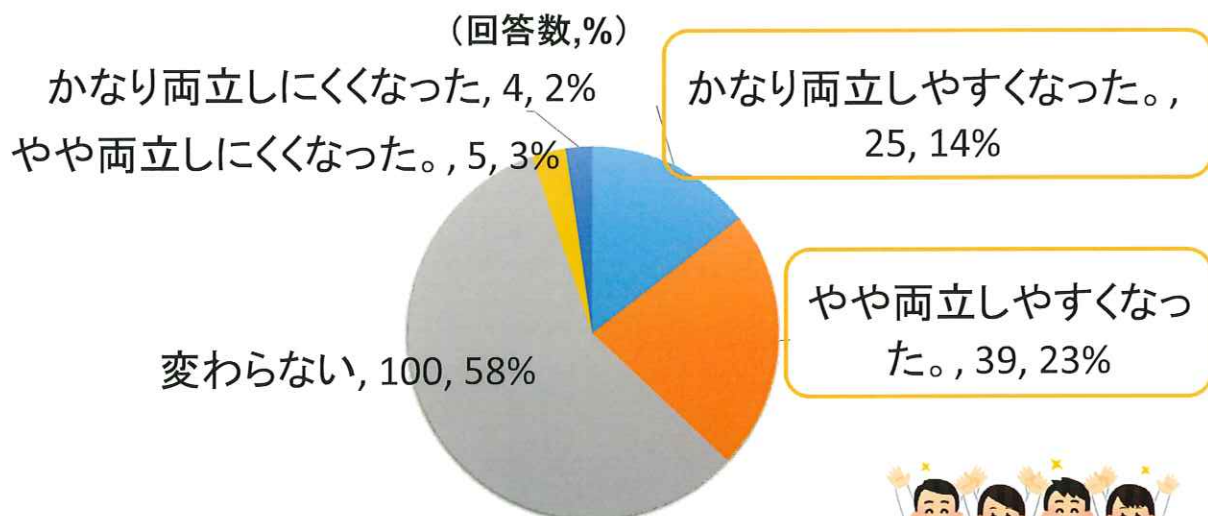


回答者の男女別で見ると



- 男性は、育児に影響されていない
- 女性は、“参加しない”の割合が大きい

仕事と育児の両立はしやすくなった？

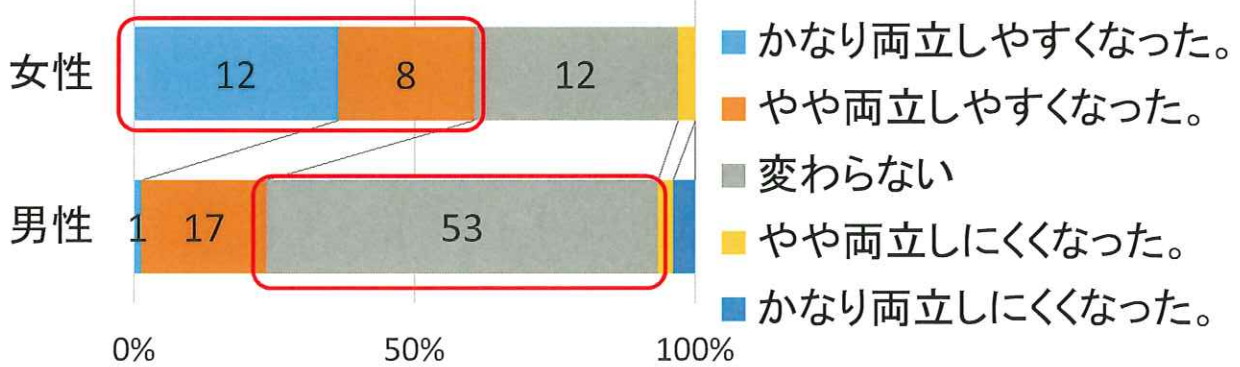


- 4割が“両立しやすくなった”



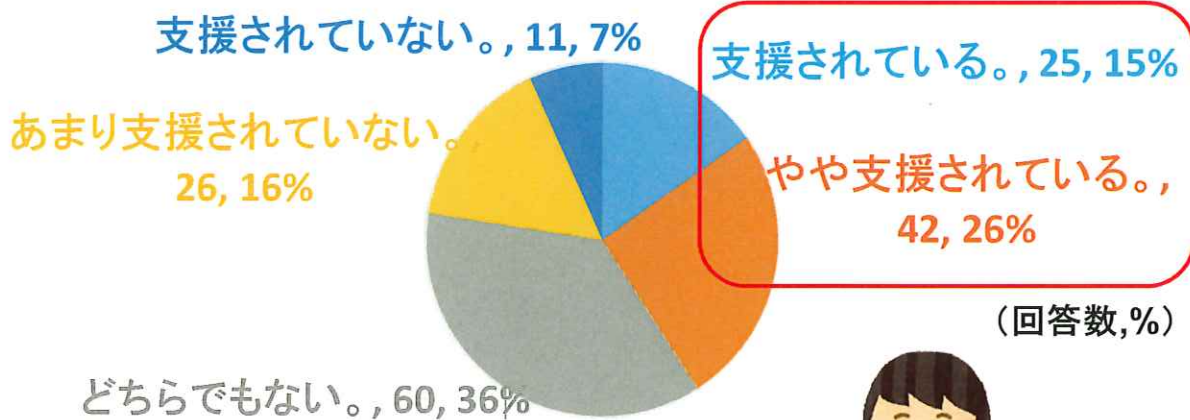
“仕事と育児の両立はしやすくなった？”

回答者の男女別でみると
育児中の



- 育児中の女性医師は6割で“両立しやすくなった”と感じている
- 男性医師は、7割が“変わらない”と感じている

仕事と育児の両立支援の状況について どう感じていますか？



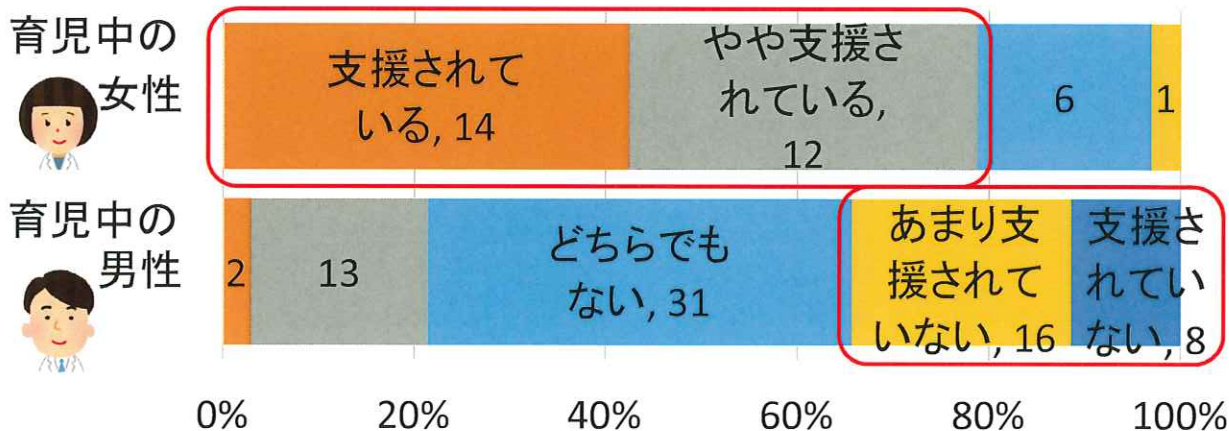
(回答数,%)

- 4割が“支援されている”



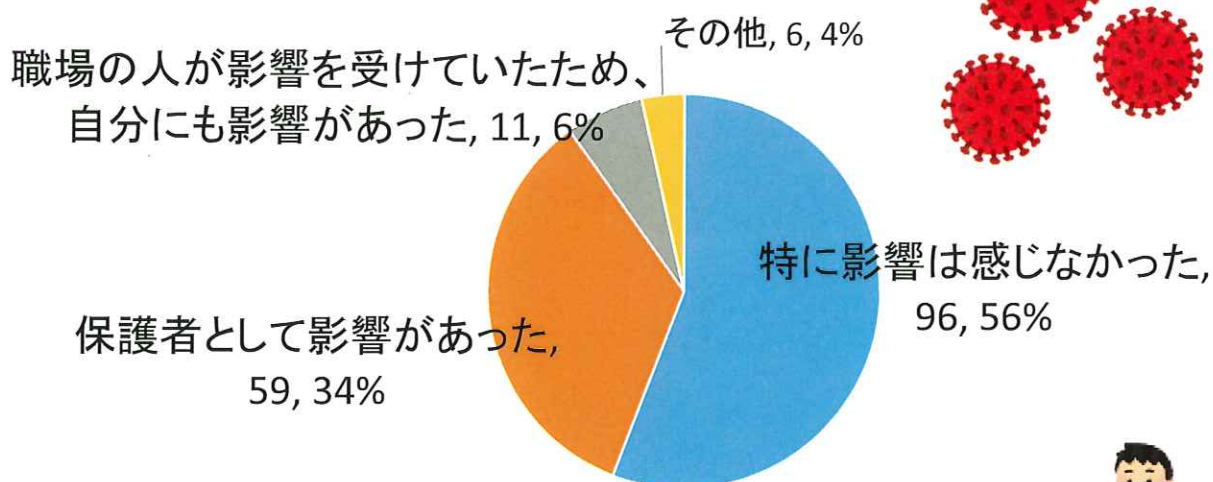
“仕事と育児の両立、支援されている？”

回答者の男女別でみると



- 女性は、8割が“支援されている”
- 男性は、3割以上で“支援されていない”

2020年3月～5月は新型コロナウイルス感染拡大の影響で小・中学校などが休校となりました。
影響はありましたか？



- 4割に“影響があった”

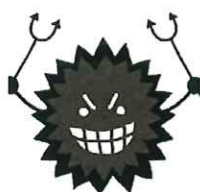
(回答数、%)



(一斉休校の影響に関する記載より一部抜粋)

いつもの預け先に子供を預けられない

- 保育園の受け入れ人数制限があった
- 親が病院勤務のため受け入れてもらえない時期があった
- 病児保育も精神的に預けにくいと感じた



(一斉休校の影響に関する記載・続き)

子供は毎日の家の中で留守番の生活 外出制限で親子ともにストレス

- お弁当を作るなど食事の準備
- 家で過ごす時間割など学習の補助で、負担が増えた
- 自宅で子供だけで過ごすしかなく、精神的に不安定になったり、生活のリズムの崩れがみられた。
- 大雨などの時は大学に連れてこれますが
コロナでは大学に立ち入り禁止



これまでの“休校時の対応”が出来ない

- 親に預ける日が増えた
- 自分がオフの日も親類の子供を預かることがあった

(一斉休校の影響に関する記載・続き)

- 保育所が休園となり特別休暇を取得し育児にあたった
- 臨時で休みをいただいて妻と交代で子供と過ごした。調整など苦勞した
- 休校で預け先がなく、週1で夫が休み、週1で両親が来て、のこり週3は自分が休んで対応した。
- 朝、突然に休園になった日は子供の預け先をみつけるために、電話を沢山かけ、仕事には15分くらい遅刻

職場の協力が
必要だった



岐阜大学
GIFU UNIVERSITY

15

(一斉休校の影響に関する記載・続き)

- 預け先が無い人の分の仕事を、勤務できる人で担当した
- 育児中の医師が病児保育所を利用できないことがあった
- 人がへりました

職場が協力した



想定外の感染症拡大でしたが
職場での助け合いで乗り切りました！



岐阜大学
GIFU UNIVERSITY

16

仕事と育児の両立支援に関するアンケート 結果まとめ

- 必要な支援は大きく変わっていない
- 男性医師への支援に関心が強くなっている
- 少しずつ変化している

